▼人口のうごき

人　口	114,211人	(－79人)
男	54,751人	(－45人)
女	59,460人	(－34人)
世　帯	48,521世帯	(＋4世帯)

平成24年２月末日現在
住民基本台帳登録数（ ）内は前月比

▼テレホンサービス

■市政だより
0897－53－1500（常時）

■当番病医院
0897－58－2200（常時）

■災害情報
0897－55－5551（発生時）

▼編集後記

市役所では毎年、新年度がスタートする４月１日付けで人事異動があり、この広報紙が皆さんのお手元に届く頃には、編集スタッフの顔ぶれも代わることになっているはずです。

手前味噌ですが、平成23年度の愛媛県広報コンクールで「広報さいじょう」は特選をいただきました。この部署に配属され１～２年の担当者が編集した紙面が評価をされたことは、今後の業務において大いに励みになるところです。新しい陣容になっても、これまでと同様に正確で分かりやすい広報紙づくりに努めてまいります。（ま）

伊予西条に点在する古戦場には、誰もが知っていそうで、ふと忘れられている所が幾つかあります。そんな中で今回紹介するのは、西条市総合文化会館のはす向かいに鎮座ます「太古利（たごり）大明神」です。

天正13（1585）年7月、氷見の野々市ヶ原において、秀吉から四国征伐の命を受けた小早川隆景（こばやかわたかかげ）の軍勢と、それを迎え撃つ我らが東予勢による一大決戦がありました。ざっと十数倍もの敵に後ろを見せることなく奮闘しきった東予勢でしたが、ついには総崩れとなってしまいました。

かろうじて残った東予将兵たちはそれぞれ散り散りに生き延びようとしましたが、むしろ合戦より惨いのが落ち武者狩りでしょう。当時の文化会館周辺はうっそうとした葦（あし）野原で、その草むらに隠れていた一人の名もなき落ち武者が、つい咳き込んでしまい発見されて討たれたのです。

この不運を哀れんだ村人たちが、その屍を臨終の場所に埋葬して丁重に供養しておりましたところ、いつしか「あのお塚さんを拝んだら喘息が治ってしもた」という評判がたち始めまして、塚から祠に奉り変えては「太古利大明神」として、現在でもその信仰は絶えていません。

伊予西条に住み暮らしてきた先人の、誠に健気で優しい心根に改めて感謝いたします。

大通寺の墓地の一角に祀られ、今も多くの人が参る太古利大明神

このコーナーに寄稿いただいている菅靖匡さんのエンターテイメント時代劇第２弾「天保冷や酒侍　阿修羅舞う」が好評発売中です。

天衣無縫の快男児・伊予西条藩士の菅野靖政の幕末を揺るがす大衛幹事件に巻き込まれ…

西条バードウォッチング
Saijo Bird Watching

No.80　オオハム（冬鳥）

全長72㎝、冬期に瀬戸内海へ多く集まる水鳥です。潜水してイカナゴを水面に追い上げ、それを追うタイを釣る「鳥持網代漁」（アビ漁）として知られ、広島県の海域は渡来群遊海面として国の天然記念物に指定されています。西条では1995年４月に渦井川河口に渡来、河原津沖や加茂川河口でも稀に見られます。

撮影・十亀茂樹

広告欄

平成24年度も落語会の開催を計画しています。
諸般の事情により開催時期及び内容が23年度とは異なる場合がありますので、情報をご確認ください。
5月　東予南地域交流センター寄席（予定）
7月　全国アマ落語2012in西條神社＆in西条（予定）
11月　公民館寄席（計画中）
12月　熟年コミュニティせとうち＆村上記念病院寄席（計画中）
1月　公民館寄席（計画中）
3月　第9回西条うちぬき寄席・古今亭菊志ん ほか（計画中）
平成24年度も宜しくお願いいたします。
西条市落語を聴く会　代表　小寺　秀志

広告欄

補聴器と聞こえの相談会
聞こえの相談　聴力測定　最新補聴器の試聴　を行っております。
相談会日程
<丹原地区>4月17日(火)
9:00～12:00　丹原文化会館2階
<西条地区>4月18日(水)
10:00～15:00　西条市役所本庁1階
テレビ宣伝でおなじみ！最新デジタル補聴器使用イメージ
西条店では毎日無料相談を受け付けております。お気軽にご来店ください。
えひめ補聴器センター　予約ダイヤル 0120-33-4449
住所/西条市本町1-1 定休日/日・祝・第2・第4土曜 西条市役所南側 渡部タクシー本社向かい側